

淀屋牧田家復元予想図



淀屋牧田家の一般公開を伝える新聞記事

一般公開された主屋内部を見学する市民ら＝3日、倉吉市の旧牧田家



江戸時代の大阪の豪商・淀屋にゆかりがあり、倉吉市内に現存する町屋として、倉吉市の「旧牧田家」が三日、倉吉市東区倉町の現地で一般公開された。江戸後期に建てられた母屋は空き家となり老朽化も著しいが、訪れた市民らは往時をしのぶ建築様式に感嘆の声を上げた。一般公開は、文化財に対する理解を深めてもらい伝統を残そうと、市民らで構成する淀屋牧田家再生プロジェクト（田村幹夫代表）が計画。午前と午後の二回に分けて行い、午前中だけで約二百五十人が訪れるなど関心の高さをうかがわ

江戸期町屋に感嘆

倉吉「旧牧田家」を一般公開

せた。一七六〇年に建築された母屋の内部は老朽化し

ているものの、大きな柱などの部材がしっかり残る。現在個人が住んでおり、今回特別に公開された数奇屋風の迫りの離れ座敷の一部には、手間のかけられた天井張りや豪華な欄間などがある。

